

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
2) 健康心理学コラム vol. 50 同志社女子大学 畠中香織先生

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■年会費納入のお願い(財務委員会より)

年度末が近づいてきました。

お引越しや就職などによる連絡先の変更は、速やかにお知らせ頂き、学会からの大事な連絡やサービスを、確実にお受け取りください。

ご卒業などで退会予定の方は、今年度中にお申し出ください。ご連絡が4月以降の場合、次年度会費を頂くこととなりますので、ご注意ください。

■第105回・106回 健康心理学研修会のご案内(研修委員会より)

第105回健康心理学研修会：2月26日(日) 10時30分-16時
会場：桜美林大学四谷キャンパス

「慈悲とマインドフルネス瞑想の実践ワークショップ」

講師：有光興記先生(駒澤大学)

第106回健康心理学研修会：3月11日(土) 10時30分-16時
会場：桜美林大学四谷キャンパス

「コーチング心理学の理論と実践」

講師：石川利江先生(桜美林大学)

奥田訓子先生(YMCA 健康福祉専門学校)

松田与理子先生(桜美林大学)

会場：桜美林大学四谷キャンパス(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12)

<http://www.obirin.ac.jp/access/yotsuya/>

詳しくは <http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

■2017年度 アーリーキャリアヘルスサイコロジスト賞について(国際委員会より)

日本健康心理学会に所属する若手研究者および Early Career 研究者による国際学会大会での優れた発表を表彰することになりました。

応募期間は2月1日から2月28日までです。奮ってご応募ください。

詳しくは

<http://jahp-international.blogspot.jp/2017/02/2017.html>

■日本健康心理学会第29回大会優秀発表賞のご報告

日本健康心理学会第29回大会優秀発表賞が以下の3件で決定いたしました。

本学会では、39歳以下の主発表者(筆頭発表者)を対象に、発表論文原稿および当日の発表内容から、大会に参加いただいた選考者(常任理事、理事、編集委員)による投票をもって選考を行い、以下の3件を優秀発表賞と決定いたしました。

-日本健康心理学会 第29回大会 優秀発表賞受賞者(プログラム順・敬称略)-

開催期日：2016年11月18日・19日

開催場所：岡山大学津島キャンパス

小西 瑞穂/国立成育医療研究センター

P1-10G 牛乳アレルギーを持つ子どもの母親を対象としたストレス介入プログラムの作成の試み

井上 和哉/産業技術総合研究所

P3-18G 視覚的な感性満腹感の生起における注意の重要性
小関 俊祐/桜美林大学

P3-28H 児童の行動活性化/行動抑制傾向と抑うつとの関連
なお、上記受賞者に対しては、理事長名での賞状および受賞証明書が授与されますとともに、学会の公式媒体(ニューズレター、メールマガジン、ホームページ等)で公表されます。

加えて、本学会機関誌への投稿が推奨され、機関誌編集委員会において査読に際して一定の優遇措置が与えられます。

詳しくは <http://jahp.wdc-jp.com/news/news.html#a170206>

2) 健康心理学コラム Vol. 50

「在日外国人ケア労働者の長期就労に向けて」
(同志社女子大学 畠中香織)

経済連携協定により、外国人ケア労働者(以下、外国人)が導入され、日本の介護現場は多文化化が進んでいます。

外国人は来日前・来日後の日本語研修を受けた後に就労を開始して、国家試験を受験します。

しかし、生活習慣・職場慣習の違い、日本語習得の困難さから異文化適応は容易でなく、メンタルヘルスの問題を抱えるなどして母国へ帰国する者は多く、その支援は重要な課題となっています。

外国人の長期就労支援に向けて、二つの要素に注目したいと思います。

1つ目は、異なる文化背景を持つ日本人と外国人が、互いを尊重する「協働文化」の醸成です。

2つ目は、日常生活や職務遂行を橋渡しする、日本人の「文化仲介者」の存在です。

例えばA施設では、長期的な協働を視野にいれ、外国人の個人能力、スキルをみて適した部署に配置しています。

同国出身者を受け入れるなどピアサポート環境を提供し、ストレス対応の取り組みも実施しています。

こうしたサポートと友好的な態度が外国人の適応を助けます。

加えて不安や困難を相談できる職場の日本人がいればストレスは軽減し、長期就労にもつながるといいます。

外国人技能実習制度へ介護職種が追加されたことで、外国人の一層の増加が予測されます。

文化の異質さをネガティブに捉えるのではなく、よりよいケアを創出する過程の中でポジティブに活かせるよう、職場環境の構築を支える探求を進めたいと思います。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止, アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp-post@bunken.co.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp-ML@bunken.co.jp >

過去のメールマガジンは, こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>